

## 『選挙に行く』スポット

2022年参议院選挙用

●市民の皆さん、こんにちは。私たちは、

一人でもだれでも入れる労働組合・建交  
労です。

みなさん 日々の暮らしはいかがでしょう  
うか。収束の見えないコロナ禍が、世界  
の経済を冷え込ませています。更に相次  
ぐ値上げラッシュが、私たちの生活を圧  
迫しています。

「もう、こんな苦しい生活は嫌だ」

※そんな私たちの想いは7月10日、参議  
院選挙の投票に行き、ご一緒に政治を変  
えましょう。

●市民の皆さん、こんにちは。私たちは、

一人でもだれでも入れる労働組合・建交  
労です。

ロシアは侵略をやめよ、国際法を守れ、核  
兵器の脅しは許さない——この声を、ご一  
緒にあげていきましょう。私たち建交労は、  
失業と戦争に、きっぱり反対。国連憲章に  
基づく平和の国際秩序をつくりましょう。

「戦争反対！平和を守れ！」

※そんな私たちの想いは7月10日、参議院  
選挙の投票に行き、ご一緒に政治を変えま  
しょう。

●市民の皆さん、こんにちは。私たちは、

一人でもだれでも入れる労働組合・建交  
労です。

新型コロナの感染が深刻です。ワクチン  
の3回目接種、大規模検査と医療機関への

支援強化、学校・保育園での感染への対応、  
事業者支援など、緊急の対策が必要です。

「感染予防対策の強化とコロナ禍から国  
民生活を守れ」

※そんな私たちの想いは7月10日、参議  
院選挙の投票に行き、ご一緒に政治を変  
えましょう。

●市民の皆さん、こんにちは。私たちは、

一人でもだれでも入れる労働組合・建交労  
です。

核兵器は、世界平和を脅かす、究極の非  
人道兵器です。ところが、一部の政治家や  
政党は、アメリカとの核兵器「共有」を言  
い出しました。憲法にも、非核三原則にも  
反する危険な主張です。必要なのは、日本  
も核兵器禁止条約に参加し、一日も早く核  
兵器をなくすことです。「核兵器をなくせ！  
恒久平和の実現を」

※そんな私たちの想いは7月10日、参議  
院選挙の投票に行き、ご一緒に政治を変  
えましょう。

●市民の皆さん、こんにちは。私たちは、

一人でもだれでも入れる労働組合・建交労  
です。

男女の賃金格差がひどすぎる。痴漢、性暴  
力をなくそう。選択的夫婦別姓の導入を—  
。ジェンダー平等を求める声と運動が、  
広がっています。

「一人ひとりの人権が尊重され、自由に  
生きられるジェンダー平等社会の実現を」。

※そんな私たちの想いは7月10日、参  
議院選挙の投票に行き、ご一緒に政治を

変えましょう。

●市民の皆さん、こんにちは。私たちは、一人でもだれでも入れる労働組合・建交労です。

「なぜ、こんなに生活が苦しいの」「賃金が上がらない」「年金はさがる一方」「物価はどんどんあがる」

賃金を上げ、人間らしく働くルールを確立してこそ、経済も成長します。異常に増えた大企業の内部留保に適正に課税をすれば、中小企業の賃上げ支援や「最低賃金1500円」の実現、消費税5%への減税を実現できます。

※そんな私たちの想いは7月10日、参議院選挙の投票に行き、ご一緒に政治を変えましょう。

●市民の皆さん、こんにちは。私たちは、一人でもだれでも入れる労働組合・建交労です。

異常気象、夏の猛暑や豪雨、海面上昇など、気候危機の影響が、深刻です。

2030年度までに、二酸化炭素の最大60%削減、思い切った省エネ・再エネで実現しましょう。世界の人々と共に気候問題にとりくみ、地球環境を守りましょう

※そんな私たちの想いは7月10日、参議院選挙の投票に行き、ご一緒に政治を変えましょう。

●市民の皆さん、こんにちは。私たちは、一人でもだれでも入れる労働組合・建交労です。

政府は憲法を改悪し、自衛隊を軍隊として戦争する国にしようとしています。

これまでの「専守防衛」の理念を投げ捨て、日本を戦争に引き込む危険な政策です。

「憲法9条を守れ！平和を守れ」

※そんな私たちの想いは7月10日、参議院選挙の投票に行き、ご一緒に政治を変えましょう。

●市民の皆さん、こんにちは。私たちは、一人でもだれでも入れる労働組合・建交労です。

政府は、5年以内に軍事費を2倍の11兆円以上にすると言っています。その財源として「消費税の大増税」か「社会保障の大幅削減」など暮らしが押しつぶされます。

「戦争する国づくりストップ」

※そんな私たちの想いは7月10日、参議院選挙の投票に行き、ご一緒に政治を変えましょう。

●市民の皆さん、こんにちは。私たちは、一人でもだれでも入れる労働組合・建交労です。

7月10日の参議院選挙は、私たちの暮らしを変える大きなチャンスです

この国の主人公は、私たち国民です  
7月10日、参議院選挙の投票に行き、私たちの要求を実現しましょう